

4つの活動それぞれ「おもちゃ図書館」らしさが詰まっています



埼玉県さいたま市

浦和トイライブラリーおもちゃ箱

ひと・もの・想いをつなぐ「おもちゃ箱」

今から約 40 年前、自閉症のお子さんの母親が新聞で三鷹おもちゃ図書館を知り、遊びに行っていたところ、代表の小林るつ子さんに、自分でおもちゃ図書館を作る事を勧められ、地元のボランティアコーディネーターに相談。そして、親の立場の人とボランティアが始めた。

必要に応じて増やした 4 つの活動

①1983 年 障害児者のためのおもちゃ箱開始

最近は、利用が少ないけど、常連さんの憩いの場！
プラレールは必須？！年齢制限なし。

②1995 年 青年（成年）の活動開始

若者同士、同世代の人と過ごさせたいと言う親の気持ちからスタート。ボラも仲間～今は、参加者もボラも徐々に高齢化。内容も「カラオケ、外食、買い物」などから、室内での「制作、ゲーム、自由遊び」に移行。プログラムによって変わるが、平均 12 ～ 3 名の申し込みがある。

③1997 年 お母さんの談話室開始

開始時は、主に障害児者の親がおしゃべりしながら手を動かし、バザー品など作成。現在は、養成講座から加わったボラや手仕事が好きなき子連れママさんも参加。バザー品やクリスマスプレゼントを作成している。

④2010 年 にこにこ Kids 開始

障害の有無に関係しない未就学児対象のおもちゃ図書館開始。おもちゃ箱は設立者の強い思いから対象を障害児者と限っていたが、利用がほとんどない開店休業状態が続き、「場所」も「おもちゃ」も「ボラ」もいることと、『障害』と区切られると二の足を踏む人、育てにくさを感じている人と繋がりたい！との思いから、別日を設けることで設立者を説得！現在は大盛況！最近の最高記録は、28 組ー 76 名！！



毛いと玉中型へび補修中



にこちゃん開館日

広報～会報はぐくみの発行、Facebook、Instagram、公式ライン

設立当初からお知らせ（手書き）を出していたが、定期刊行物協会に参加し低料金で毎月発送。

現在は、行事の案内や報告、各活動の報告と予定、おもちゃ紹介、開館予定カレンダーなど掲載。最近では利用していなくても繋がっていただける、1 か月に 1 回思い出してもらえるツール。約 300 枚印刷し、その内約 260 人に発送。残りは、遊びに来た人などに手渡し。コロナ禍に休館した時は会報もお休みしたが、その代わり、Facebook、Instagram を開設。若干利用増にもつながっている。2024 年 5 月より公式ラインも開始。公式ラインは、告知以外に、貸し出しおもちゃの写真を送ってもらう事で、おもちゃの貸出・返却にも有効活用している。

他団体との連携

(1) 埼玉県おもちゃ図書館連絡会・・・身近な仲間！助成金の情報交換。共同で交流会や研修会、お互いのおもちゃ図書館の見学会など実施。小さな悩みや

近況などしゃべって、共有！「あれならウチでもできそう?!」～頑張る、継続する活力に！

(2) 浦和市ボランティア協会・・・おもちゃ箱設立の仲人！合併によりさいたま市になり、浦和区ボランティアネットワーク（UVN）に。おもちゃ図書館以外のボランティア団体と連携してボランティアフェスティバルを開催。（最初の頃からずっと役員を引き受けている！）

(3) 社会福祉協議会・・・社協の活動助成金を頂くために、書類の作成、申請の際、なるべく持って行き、担当者と顔を合わせ、話すようにしている。ボランティア養成講座の共催。夏のボランティア体験の受け入れ。単発ボランティアの募集依頼。社協が活動先を探している人を受け入れる。何かしら協力要請があればなるべく協力している。

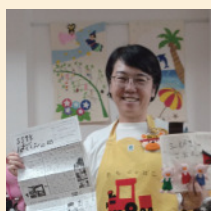
開館場所（部屋）の占有が出来ない?!～あきらめない！出来ることを探す!～

最初は、浦和コミュニティセンターの1室を借り、倉庫からおもちゃや絨毯を出して開館。その実績が

認められ、現在の開館場所である「浦和ふれあい館」が建つ時（1992年）に、設計段階から声を聞き入れてくれた「ふれあいルーム」を常設として使用（予約も不要）。しかし、2001年浦和、大宮、与野市が合併、さいたま市になり、2年後岩槻市も合併したら、急に貸し部屋対象となり、占有は認められないと通達。他の利用者と同じように予約が必要となるが、そこで、設立当初のメンバーが立ち上がり、経緯を文書で提出。それが認められ、現在は、使用する日を1年に一度、まとめて申請し、優先予約が出来ている。



毎年行っているクリスマス会



● 代表より一言

この41年活動が続いているのは、初代代表&設立当初のメンバーの「おもちゃ箱を、障害のある子を中心に子育て中の親子や周りの人々がホッとできる居場所に!」との熱い想い、願い。そしてそれを実現させようとする、その時々代表や関わっていたメンバーと利用者さんのやさしさ、あたたかさ。そんな奇跡のような出会いがあったからこそ、これまで続けてきたのだと思います。そして、5代目代表として継承していきます！（柚口千佳）

場所 埼玉県さいたま市浦和区常盤 9-30-22 浦和ふれあい館 3階ふれあいルーム

日時

障害児者のための「おもちゃ図書館にこちゃん」第3月曜・第4土曜 10:00～15:00

（対象：障害児者とその家族等）

お母さんの談話室「毛いと玉」第1水曜 10:00～15:00（対象：手作りが好きな方）

余暇支援「いるか」第2又は第3日曜 10:30～14:00（対象：主に知的障害の成年）

子育て支援「にこにこ Kids おもちゃ図書館」第2月曜 10:00～14:00

（対象：障害の有無に関係なく未就学児とその家族等）



Facebook



Instagram